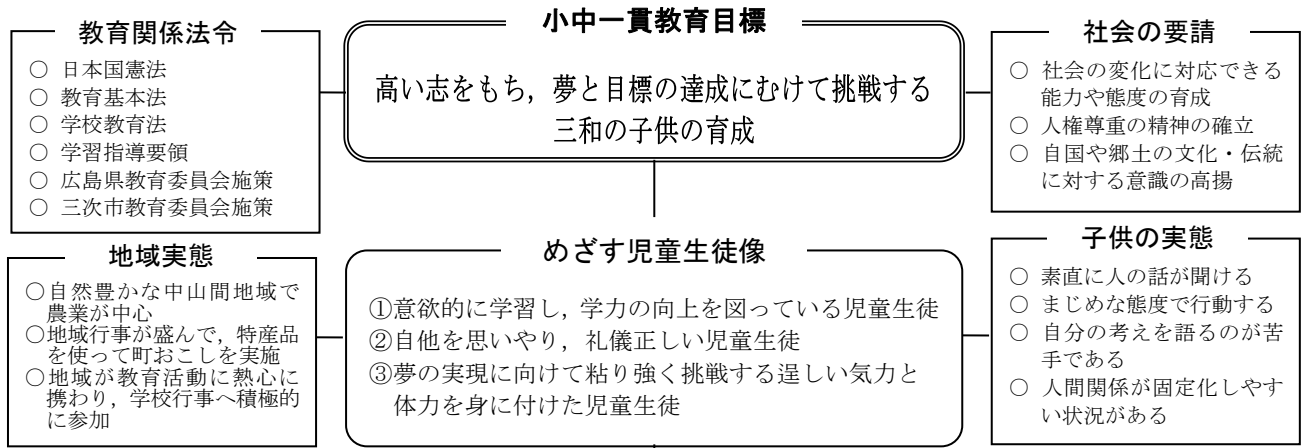


(1) 令和6年度 三和小中一貫教育全体計画



三和中学校区研究主題

「ともに学び合いながら理解を深め、主体的に学ぶ子供の姿をめざして」
～アクティビティ型授業の設定とファシリテーションを活用した指導方法の工夫を通して～

【三和小中学校で身につけさせたい資質・能力】				
知識及び技能		思考力、表現力、判断力等		学びに向かう力、人間性等
知識を生かし深める力		共に考え伝え合う力		自ら関わり学び続ける力
区分	初期	前期	中期	後期
学年	小1・小2	小3・小4	小5・小6・中1	中2・中3
知識を生かし深める力	①物事や事象への驚きや疑問をもつことができる。 (問い) ②学んだことを活用して学習したり、生活に役立てたりすることができる。 (活用) ③生活や遊び、体験活動から得た知識などを生かして気付きや考えをもつことができる。 (概念的理解)	①驚きや疑問をもち、理解するための知識や情報、技能等を学び取ろうとすることができる。 (問い) ②概念的に形成された知識・技能を生活や学習の中で活用し、課題解決することができる。 (活用) ③生活や遊び、体験活動から得た知識などを生かして知識を形成することができる。 (概念的理解)	①驚きや疑問をもち、理解するための知識や情報、技能等を自ら獲得しようとすることができる。 (問い) ②思考・判断・表現を通じて概念的に形成された知識・技能を生活や学習の中で活用し、見通しをもって課題解決することができる。 (活用) ③生活や遊び、体験活動から得た知識などを生かして知識を形成することができる。 (概念的理解)	①驚きや疑問をもち、既知の知識や情報、技能等を用いて、より深い疑問を持つことができる。 (問い) ②概念的に形成された知識・技能を生活や学習に活用し、構想を立てて課題解決したり、評価・改善したりすることができる。 (活用) ③学習と生活とのつながりを意識し、現代社会のどのような場面で活用されているのかを理解し、自らの生活をさらに豊かにする方法について考えることができる。 (概念的理解)
共に考え伝え合う力	①身の回りのことや体験したことから情報を集め、比較し、特徴をとらえることができる。 (思考・判断) ②他者の考えと自分の考えを比較しながら話し合い等を行うことができる。 (協働) ③言葉を適切に用いて、自分や友達の気付きや考え、よさなどを、順序を考えながら伝え合うことができる。 (表現)	①物事をとらえる視点を持ち、情報を比較・分類・関係付けたりしながら特徴や傾向をとらえ、目的に合わせて考え、判断することができる。 (思考・判断) ②他者と協力して、多様な考えを出し合い、課題解決に向けた取組を行うことができる。 (協働) ③言葉を適切に用いて、伝える相手や目的に応じて理由や事例などを挙げながら伝え合うことができる。 (表現)	①物事をとらえる視点を持ち、目的や意図に応じて情報を比較・分類、関係付けたりしながら根拠をもって考察することができる。 (思考・判断) ②他者と協力して、多様な考えを出し合い、課題解決に向けて協働的に活動することができる。 (協働) ③相手や目的に応じて、言葉を適切に用い、事実と意見を区別したり、根拠や立場を明確にしたりして表現し伝え合うことができる。 (表現)	①物事をとらえる視点を持ち、様々な情報を適切かつ効果的に収集し、比較・分類、分析・解釈したりしながら、根拠をもって多面的・多角的に考察することができる。 (思考・判断) ②自らの意見を提案しながら他者と協力し、課題解決に向けてよりよく協働活動を行うことができる。 (協働) ③相手や目的に応じて、言葉を適切に用い、自分の解釈を加えて説明・論述したり、妥当性や効果、実現性などを踏まえて議論や意見交換をしたりすることができる。 (表現)

自ら関わり学び続ける力	①自分から人・もの・ことと関わり合い、互いに楽しく活動しようとしている。 (コミュニケーション)	①他者と関わり合う中で、互いの気持ちや行動を理解し、関係を深めていこうとしている。 (コミュニケーション)	①他者と関わり合う中で、感情や行動をコントロールしながら、互いの関係を深めていこうとしている。 (コミュニケーション)	①他者と関わり合う中で、相手や場面を考えて自らの感情や行動をコントロールしながら、互いの関係を深めようとしている。 (コミュニケーション)
	②学んだことよさや楽しさ、自己の成長を感じ、さらによりよくしようとする事ができる。 (自己調整)	②学習計画を立てたり、学習内容や学習方法について振り返ったりしながら、自己の成長を自覚し、自らの学びを評価することができる。 (自己調整)	②見通しをもって学習計画を立てたり、学習内容や思考過程、学習方法などの観点をもって振り返ったりしながら、自らの学びを評価し、改善することができる。 (自己調整)	②仮説や見通しをもって学習を構想し、学習内容や思考過程、学習方法などの観点をもって振り返りながら評価・改善したり、新たな問題を見出したりすることができる。 (自己調整)
	③自分で決めたことをやり切ろうとしている。 (自己実現)	③将来の夢や希望、憧れをもち、目標に向けて粘り強く取り組もうとしている。 (自己実現)	③自己理解を深め、将来の夢や希望、憧れをもち、目標に向けて粘り強く取り組もうとしている。 (自己実現)	③自分の適性について考え、将来の夢や希望、憧れと関連づけ、目標に向けて見通しを持ち、粘り強く取り組みを継続しようとしている。 (自己実現)

5つの約束の徹底

- 9年間を通して、児童生徒に身に付けさせたい小中共通の学習規律の徹底を図る。
- 「全国学力・学習状況調査」の課題をもとに、家庭での生活習慣や学習習慣を身に付けさせる。

【学校での5つの約束】

- ①チャイムが鳴る前に授業の準備をして座っておく[準備をし、2分前に着席]
- ②身だしなみを整える[場に応じた清潔感ある服装]
- ③大きな声で気持ちのよいあいさつをする[立ち止まって笑顔で4秒礼]
- ④正しい姿勢で学習する[立腰で集中し、主体的に学ぶ]
- ⑤相手の話を最後まで聞く[相手の目を見て最後まで聞く]

【家での5つの約束】

- ①早寝・早起き・朝ごはん・あいさつの習慣をつける
- ②家庭学習を毎日する。(自主学習・読書)
- ③家庭での生活のルールを決める
- ④家族との対話を大切にする
- ⑤家族の一員として手伝いをする

【職員連携】

- 定期的な推進委員会
- 授業交流(研究授業・授業参観)
- 学力調査分析・交流

【PTA連携】

- 保護者への情報発信
- 家での5つの約束
(家でのルールを徹底する)

【地域連携】

- ゲストティーチャーを招いての地域学習
- 地域ボランティアの参加